

## 2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	建築基礎構造設計例集改訂小委員会	主査名：新井 洋 就任年月：2023 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (基礎構造運営委員会)	委員長名：五十田博 (主査名：田村修次)
設置期間	2023 年 4 月 ～ 2024 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	2019 年度に改定された建築基礎構造設計指針（基礎指針）を受けて、最新の知見を整理し、建築基礎構造設計例集を改訂する。  初年度：改訂設計例集の刊行と講習会の開催	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：無	
	主査：新井 洋（建築研究所） 幹事：柏 尚稔（大阪大学） 委員：池田隼人（日本設計）、内本英雄（清水建設）、大石 昌（久米設計）、金子 治（広島工業大学）、烏 章典（竹中工務店）、河野秀生（大林組）、小林勝已（フジタ）、小林治男（大成建設）、関 崇夫（前橋工科大学）、園田隆一（安井建築設計事務所）、谷川敬祐（日建設計）、永田 敦（三菱地所設計）、古垣内靖（東急建設）	
設置 WG (WG 名：目的)	基礎構造の性能グレード設計例作成 WG：建築基礎構造設計例集の改訂において、基礎指針で新たに導入された性能グレードの概念を設計例集に反映させるため、具体的なクライテリアや方策を検討し、設計事例を作成する。	
2023 年度予算	370,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： —

項目	自己評価
委員会開催数	7 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. 2024 年 1 月『建築基礎構造設計例集』刊行
講習会	1. 2023 年度日本建築学会支部共通事業「建築基礎構造設計例集」改訂講習会 参加者数：東京 A 127 名・仙台 43 名・名古屋 37 名・大阪 82 名・福岡 35 名・東京 B 261 名 合計 585 名（対面 388 名＋オンライン 197 名）
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	—
大会研究集会	—
対外的意見表明・パブリックコメント等	—
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 改訂設計例集を刊行し、講習会を開催した。
委員会活動の問題点・課題	なし